

A Study on the Use of Picture Books in Foreign Language Activities at Elementary

School: Focusing on the Collaboration between Picture Books and ICT

教科・領域教育専攻

言語系コース（英語）

前田 知詠子

指導教員 伊東 治己

I 研究の目的

本研究の目的を次の4点に設定した。

- (1)英語絵本が持つ特性を明らかにする
- (2)小学校での英語絵本の使用実態と使用に対する教員の意識を調査する
- (3)英語絵本と ICT のコラボレーションの在り方について考える
- (4)英語絵本を活用した授業展開を提案する

II 論文の構成

本論文は5つの章で構成されている。まず、1章では、研究の動機や目的、ならびに論文の構成について述べる。次に、第2章では、外国語活動における文字の扱いと英語絵本に関する先行研究を概観する。そして、第3章では、公立小学校の教員を対象に、英語絵本に関するアンケート調査を実施する。そして、第4章では、第3章のアンケート調査の結果を踏まえて、英語絵本と ICT のコラボレーションの在り方について考察し、オンライン英語絵本を活用した授業展開を提案する。最後に、第5章では、本研究の考察を行い、今後の英語絵本やオンライン英語絵本の活用の在り方を提案する。

III 論文の概要

第1章では、研究の動機と目的、ならびに論文の構成について述べた。

第2章では、英語絵本に関する先行研究を概観した。まず、外国語活動における文字の扱いについて概観し、文部科学省の「音声と綴りとの関係を取り扱わない」という方針に関して、研究者や教員の間賛否両論があることを述べた。次に、外国語活動における英語絵本について概観し、文部科学省が作成した *Hi, friends!* に文字や単語、文章が含まれていることから、教員が文字を使用することに対して消極的になる必要はないということ、そして文字を多く含む英語絵本をもっと積極的に活用するべきだと述べた。次に、英語絵本の特性について概観し、自身の考える英語絵本として次の5点を述べた。

- ・単語・句・文章の繰り返しが多い
- ・文が比較的短い
- ・絵本の内容や言語材料が児童の親しみのあるものである
- ・挿絵や単語、文の内容が一致している
- ・外国の文化が含まれている

最後に、英語絵本の教育的価値について概観し、自身の考える英語絵本の教育的価値として次の7点を述べた。

- (1)絵本には挿絵があるため内容理解を促すことができる。
- (2)絵本は児童の次の学習の動機付けとなる。
- (3)絵本で話の概略を理解させることができる。

- (4)絵本は異文化理解につながる。
- (5)絵本は音と文字を結びつける指導を行うことができる。
- (6)絵本は英語のイントネーションやリズムに慣れ親しませることができる。
- (7)絵本は文脈の中で自然な英語の読み方を身に付けさせることができる。

第3章では、第2章の先行研究をもとに、公立小学校の教員を対象とした英語絵本に関するアンケート調査を実施した。この調査は、英語絵本の使用実態と教員の英語絵本の使用に対する意識を明らかにすることを目的とした。本調査の結果の一部を示す。

- (1)現在、外国語活動で文字の指導を行っている教員は少ないが、文字の指導の必要性を感じている教員が多くいた。
- (2)外国語活動で英語絵本を活用した経験がある教員は約4割と少なかった。
- (3)教員は英語絵本の選定を行う際に、児童が知っている話や絵本に含まれている語彙が簡単なものを重視している。
- (4)教員は英語絵本を児童の英語への興味・関心を高めるため、また英語学習への動機付けのために活用している。
- (5)教員が英語絵本を活用しない理由は物理的問題と教員自身の問題の2つに分けることができる。1つ目は、勤務校に「英語絵本がない」や「時間的余裕がない」といった物理的問題で、2つ目は「英語絵本の活用方法が分からない」や「児童の前で英語を読む自信がない」といった教員自身の問題によるものであった。
- (6)小学校英語が教科化されるならば、英語絵本の活用を前向きに検討すると答えた教員が多くいた。
- (7)オンライン英語絵本の知名度は低かった

が、オンライン英語絵本の活用に興味を示した教員は多くいた。

第4章では、第3章のアンケート調査の結果を受けて、英語絵本とICTのコラボレーションの在り方について考察した。まず、現在教育現場で利用が高まっているICT機器や外国語活動で活用されているICTについて述べた。次に、オンライン英語絵本や活用の利点、そしてオンライン英語絵本サイトとそのサイトの特徴等を述べた。最後に、学習指導案を提示し、オンライン英語絵本を活用した授業の提案を行った。学習指導案には、活用するオンライン英語絵本の出典や文章、活動の内容を示した。

本研究で次の3点が明らかになった。

- ・英語絵本の特性及び英語絵本の持つ教育的価値
- ・教員の英語絵本やオンライン英語絵本の活用に対する高い期待値
- ・英語絵本とICTをコラボレーションさせた指導や活動の可能性

IV 今後の課題

今後の課題を次の5点に設定する。

- (1)児童を対象とした英語絵本に関するアンケート調査の実施
- (2)オンライン英語絵本を活用した活動やワークシートの作成
- (3)オンライン英語絵本のサイトとオンライン英語絵本のリストの作成
- (4)オンライン英語絵本を活用した授業の実践
- (5)英語絵本の活用にに関する学習や研修会への参加